

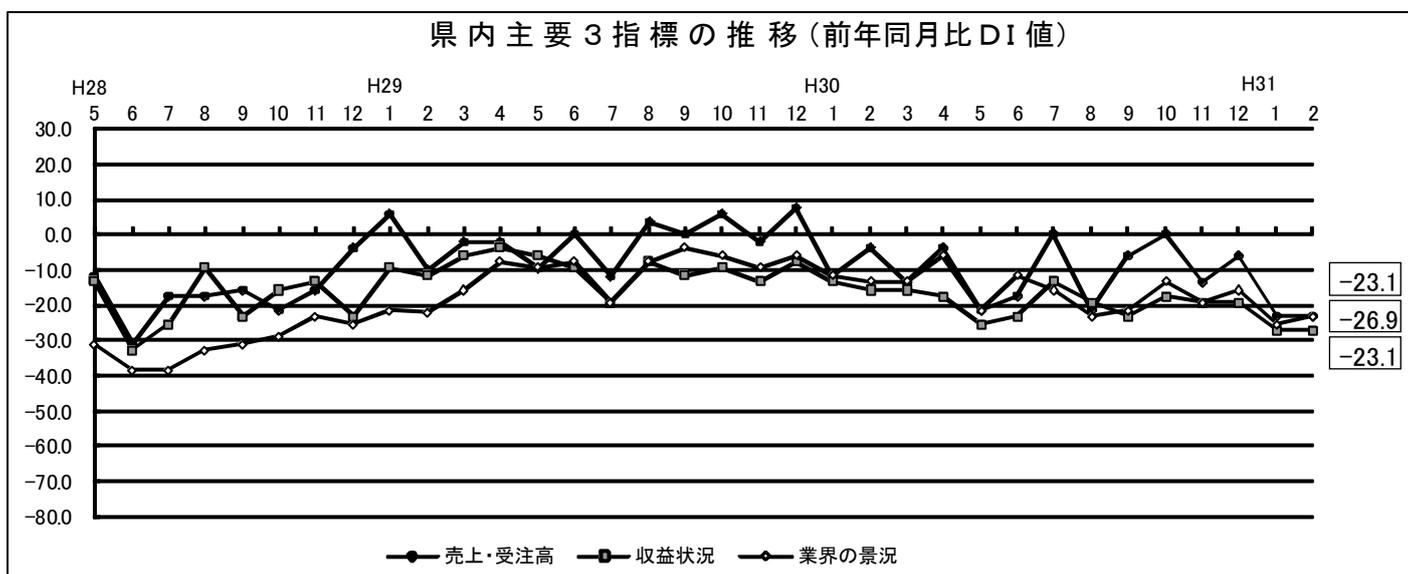
# 中小企業団体情報連絡員報告結果(平成31年2月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員(中小企業組合(協同組合、商工組合等)の役職員52名に委嘱)による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 2月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べ、9指標中「販売価格」「取引条件」「資金繰り」「設備操業度」「業界の景況」の5指標が上昇し、「在庫数量」の1指標が下降した。
- 主要3指標では、「売上高」及び「収益状況」は前月と変わらず、それぞれ-23.1ポイント及び-26.9ポイント、「業界の景況」が前月より1.9ポイント上昇し-23.1ポイントであった。
- 下落幅が著しかった1月に続き、当月も厳しい結果となった。依然として製造業を中心に、製造コストの増大や労働需給の逼迫が追い打ちとなり、収益状況の低下が続いている。また、一部の業種では景況感に好転の兆しが見られたものの一時的と捉える向きも多く、今後の不安要素を内包したままで、引き続き予断を許さない状況にある。

県内主要3指標の推移(前年同月比DI値)



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上・受注高	-23.1	±0.0	-14.0	+1.8
収益状況	-26.9	±0.0	-21.8	-0.5
業界の景況	-23.1	+1.9	-24.3	-1.1

### 売上・受注高

当月の県内売上・受注高 DI 値は、前月と変わらず、-23.1ポイントとなった。全国においては、前月より1.8ポイント上昇し-14.0ポイントとなった。

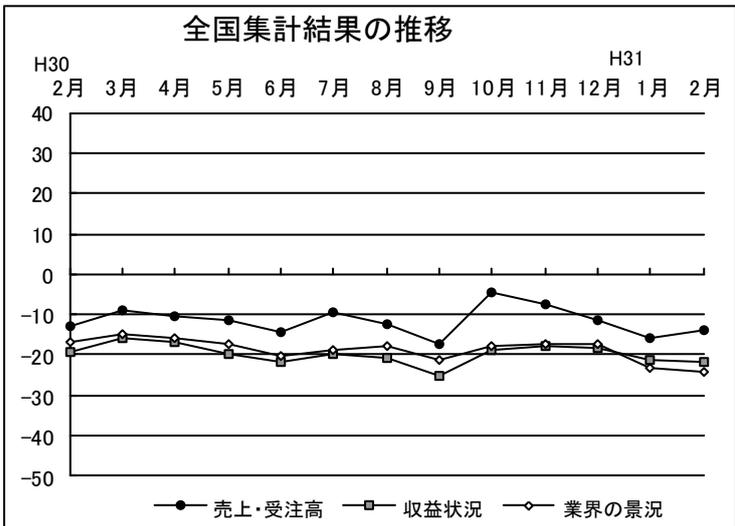
### 収益状況

当月の県内収益状況 DI 値は、前月と変わらず、-26.9ポイントとなった。全国においては、前月より0.5ポイント下降し-21.8ポイントとなった。

### 業界の景況

当月の県内業界の景況 DI 値は、前月より1.9ポイント上昇し、-23.1ポイントとなった。全国においては、前月より-1.1ポイント下降し-24.3ポイントとなった。

全国集計結果の推移



-概 況-

2月の前年同月比D I 値は、前月の前年同月比D I 値と比べ、9指標中「販売価格」「取引条件」「資金繰り」「設備操業度」「業界の景況」の5指標が上昇し、「在庫数量」の1指標が下降した。

主要3指標では、「売上高」及び「収益状況」は前月と変わらず、それぞれ-23.1ポイント及び-26.9ポイント、「業界の景況」が前月より1.9ポイント上昇し-23.1ポイントであった。

業種別の状況を見ると、図表4のとおり、「売上高」は製造業で7業種中2業種が上昇、2業種が下降し、非製造業で6業種中1業種が上昇、2業種が下降した。「収益状況」は製造業で7業種中1業種が上昇、2業種が下降し、非製造業で6業種中1業種が上昇、1業種が下降した。「業界の景況」は製造業で7業種中2業種が上昇、3業種が下降し、非製造業で6業種中2業種が上昇した。

下落幅が著しかった1月に続き、当月も厳しい結果となった。依然として製造業を中心に、製造コストの増大や労働需給の逼迫が追い打ちとなり、収益状況の低下が続いている。また、一部の業種では景況感に好転の兆しが見られたものの一時的と捉える向きも多く、今後の不安要素を内包したままで、引き続き予断を許さない状況にある。

図表1～【業種別・指標別動向一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	×	△	△	△	×	△	△	△	×
繊維・同製品	×	△	△	△	×	△	△	△	×
木材・木製品	○	△	○	△	△	△	○	△	△
印刷	△	△	△	△	△	△	△	△	△
窯業・土石	△	△	△	△	△	△	△	△	△
鉄鋼・金属	△	×	△	△	×	△	△	△	×
一般機器	×	△	△	△	×	△	△	△	△
卸売業	△	△	△	△	△	△	—	△	△
小売業	×	×	△	△	△	△	—	△	×
サービス業	△	—	△	△	×	△	—	△	△
建設業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
運輸業	○	—	△	△	△	△	—	△	△
その他	×	—	△	×	△	△	—	△	△

図表2～【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	-75.0	0.0	0.0	-25.0	-75.0	-25.0	-25.0	0.0	-50.0
繊維・同製品	-50.0	-25.0	-25.0	-25.0	-50.0	-25.0	0.0	0.0	-50.0
木材・木製品	50.0	-25.0	50.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	-25.0	0.0	25.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	-25.0	-50.0	-25.0	-25.0	-50.0	0.0	-25.0	0.0	-50.0
一般機器	-50.0	25.0	0.0	0.0	-50.0	-25.0	-25.0	0.0	-25.0
製造業	-28.0	-12.0	4.0	-12.0	-36.0	-12.0	-8.0	0.0	-28.0
卸売業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
小売業	-42.9	-42.9	0.0	-28.6	-28.6	-28.6		0.0	-57.1
サービス業	-33.3		0.0	0.0	-50.0	0.0		16.7	-33.3
建設業	-20.0		0.0	0.0	-20.0	0.0		0.0	0.0
運輸業	50.0		0.0	0.0	25.0	0.0		-25.0	25.0
その他	-50.0		0.0	-50.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	-18.5	-30.0	0.0	-11.1	-18.5	-7.4		0.0	-18.5
全体	-23.1	-17.1	1.9	-11.5	-26.9	-9.6	-8.0	0.0	-23.1

図表3～【指標別DI値の推移】

	30年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年 1月	2月	前月 比
売上高	-3.8	-13.5	-3.8	-21.2	-17.3	0.0	-21.2	-5.8	0.0	-13.5	-5.8	-23.1	-23.1	0.0
在庫数量	-20.0	-14.3	-14.3	-14.3	-11.4	-2.9	-11.4	-2.9	-17.1	-5.7	-17.1	-8.6	-17.1	-8.5
販売価格	7.7	5.8	3.8	9.6	11.5	11.5	7.7	3.8	3.8	9.6	7.7	0.0	1.9	1.9
取引条件	-1.9	-3.8	-3.8	-5.8	-3.8	-3.8	-3.8	-3.8	-5.8	-11.5	-9.6	-15.4	-11.5	3.9
収益状況	-15.4	-15.4	-17.3	-25.0	-23.1	-13.5	-19.2	-23.1	-17.3	-19.2	-19.2	-26.9	-26.9	0.0
資金繰り	-9.6	-9.6	-9.6	-15.4	-9.6	-5.8	-11.5	-11.5	-9.6	-9.6	-15.4	-15.4	-9.6	5.8
設備操業度	8.0	-4.0	-8.0	-12.0	-12.0	-4.0	-12.0	-12.0	0.0	4.0	4.0	-16.0	-8.0	8.0
雇用人員	0.0	-5.8	1.9	0.0	-1.9	-5.8	-7.7	1.9	-3.8	-1.9	-5.8	0.0	0.0	0.0
業界の景況	-13.5	-13.5	-5.8	-21.2	-11.5	-15.4	-23.1	-21.2	-13.5	-19.2	-15.4	-25.0	-23.1	1.9

図表4～【前月DI値差】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0
繊維・同製品	0.0	-25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
木材・木製品	50.0	-25.0	25.0	0.0	50.0	25.0	75.0	0.0	25.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	-50.0	0.0	0.0	0.0	-50.0	0.0	-50.0	0.0	-25.0
鉄鋼・金属	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0
一般機器	-25.0	-25.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0
製造業	0.0	-12.0	4.0	4.0	-4.0	12.0	8.0	0.0	-4.0
卸売業	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0		0.0	0.0
小売業	28.5	0.0	-14.3	0.0	28.5	0.0		0.0	14.3
サービス業	-16.6		16.7	16.7	0.0	16.7		16.7	0.0
建設業	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	20.0
運輸業	0.0		0.0	0.0	-25.0	0.0		0.0	0.0
その他	-50.0		0.0	-50.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	0.0		0.0	0.0	3.7	3.7		3.7	0.0
全体	0.0	-8.5	1.9	3.9	0.0	5.8	8.0	0.0	1.9

## 特記事項

情報連絡員報告（平成31年2月分）

所属組合	特記事項
和洋菓子製造業	ここにきて原材料の値上がりが多くなっている。そのため、収益への影響が出ている。今後、商品の値上げ等につながる。
酒類製造業	今年に入ってから売上回復が見られず、各蔵元苦戦しているようだが、3月7日に県産酒米の新品種「夢ささら」を使用した純米吟醸酒がデビューした。需要回復に繋がるよう期待している。
縫製業	縫製関係は明暗がはっきりしてきた。自社で企画立案して製品販売のできる事業所は順調だが、ほんの一握りである。大半は、下請から脱却出来なくてアパレルがくしゃみをするとう肺炎を起こすような状況である。
染色整理業	輸送費の増加や、原材料費が上昇している。
網・網・レース・繊維粗製品製造業	トーション業界では繁忙期だが、国内アパレル向けの取引先は概ね好調とは言えない状況である。同じ規模の取引先の中でも企業により好調と不調の差が顕著であり、生産体制もかじ取りが難しい。
一般製材業	1月、2月は売上高は例年高くない月のため、前年比としても多少多くなった程度で、毎月の数字に比べると低い数字である。なかなか収益を考えると非常に厳しい状況である事には変わりはない。
建具製造業	組合員により仕事量にばらつきが見られる。
印刷業	印刷用紙が非常に品薄の状況であり、特に再生紙の入手困難な実態を把握していることから、再生紙の取り扱いについては、早急に柔軟な対応を検討する必要がある。ご指定の用紙・再生紙が入手困難な場合は、代替品を認めていただくなど今後も検討していきたい。
石灰製造業	鉄鋼関係がスポットで増加したが、建材土質関係で4月以降にずれ込んだ。肥料関係は例年通りの出荷があった。全体的にはトータルすると昨年同様の結果となった。
金属製品製造業	自動車部品関連、機械設備関連、プレス金型関連いずれも低下した（売上低下・人件費増加・人手不足が要因である）。
一般機械器具製造業	31年2月の報告は前年同月と比較し、売上高については全体としては減少傾向であるものの改善並び増加企業もでてきている。また、収益状況の悪化懸念は一時払拭といったところでもある。他はほぼ不変という結果となっており、今後の受注量増加に期待したい。なお、人手不足は継続中である。
一般機械器具製造業	2月27日に臨時総会があり、理事・監事6名が参加して行われた。席上、景気の話が出て、6名全員とも悪く、景気が良いなどとの話は作り話だろうとのことで一致した。
各種商品卸売業	団地内組合員企業の多くは、前月に続き概ね不変としているが、設備投資を計画するなど業績好調の企業もある。反面、売上、資金繰り、採算等が減少又は悪化とする企業もあり、団地内でも景況感の差が大きい。
食肉小売業	1月、2月と消費が低迷しているなか、愛知県で多く発生した豚コレラの影響があり、販売不振の為、減収増益であった。
中古自動車小売業	新車・高年式の個人リース扱いに中古専門店も力を注いできている（車の所有者から使用者への変更対応）。

各種商品小売業	2月期も例年通りの状況だったが、新聞紙上で話題となった大型ファッションビルの撤退の話で街は一層の賑わい低下に繋がる不安をより濃くした月であった。
各種商品小売業	全体としての売上は前年と同等の水準であったが、業種別に見ると顧客ありきのテナントは好調である一方、客数に依存しがちなテナントは苦戦している。また、その様な業種は総じて労働力の確保も上手くいっておらず、悪循環に陥っている。全体としてのスケールメリットを活かした対策が必要だと感じる。
花・植木小売業	例年、2月は寒さのため小売りの引き合いは弱く、また、婚礼などの業務需要も少なく、売上げが落ち込む時期となるが、今年は特に落ち込みが大きかったとの声が多かった。2月14日のフラワーバレンタインはだいぶ定着をしてきたように感じるが、組合としてはさらに様々な仕掛けを施し、花の消費拡大につなげていきたい。
自動車整備業	自動車業界は増販期に入り、操業度は上昇傾向にあるが、単価の減少等により売上は伸び悩んでいる。
旅館・ホテル	宿泊の客室稼働率に関しては、2月は高稼働日とそうでない日が極端だった。レストラン・宴会・婚礼など飲食に関する部門では多様化しており、ホテル利用が全てではなくなってきた。宴会に関して、ここ数年のトレンド通り同件数受注しているが、1月同様インフルエンザの大流行により人数減やキャンセルが多く、全体の利用人数が日々減っていった。飲食店利用に関しては、月初めのご利用まで順調に繁忙期を迎えた。後半からは寒さも和らいではきたが、客足は鈍いままであった。
ビルメンテナンス業	清掃、ごみ回収、倉庫内作業など全ての業種で前年比減収減益となった。
給食センター	売上高は、産業弁当の食数減や不採算部門の撤退等により減少となった。米や野菜等の食材や燃料の値上げにより、厳しい状況ではあるが、新規の得意先の開拓・新商品の開発・コストダウンにより、収益を改善する。
内装工事業	栃木県室内装飾事業協同組合の防災ラベル支給枚数からみると、前年同月比カーテン用ラベルは32%減、敷物用ラベルは1%増、壁装用ラベルは11%減であった。3月年度末に期待したい。
一般貨物自動車運送業	求車、求荷情報は非常に高水準であり売上高も増加した。しかし、ドライバー不足も深刻化しており、荷主からの依頼に対し輸送効率を高めるため更に企業努力が必要となる。
貨物軽自動車運送業	マスコミなどで引越し難民のニュースが流れ出してから、連日、電話やメールでの問い合わせだけでほぼ1日の業務が追われる日もあり、R社とY社の影響で3、4日では引越しができないと思ひ込んだ方達が、2月中の引越しを行うための駆け込み需要があった。食品、自動車、鉄鋼など、年度末に向けて忙しくなってきた。競泳選手の白血病発表後、骨髓検体の発送依頼が増加した。
一般乗用旅客自動車運送業	第4回栃木県宇都宮交通圏タクシー特定地域協議会が開催され、タクシー事業の現状（適正化・活性化の取組状況）及び特定地域の指定期限延長についての話し合いが行われた。結果、平成31年度末まで適正化（車両数規制及び営業日数削減）が延長された。営業台数削減により、台営収の伸びに期待が持てるところである。
大谷石採石業	前年同月比で5～10%減少しているが、前年度が多かった為、実質的には通年と同レベルでの推移であった。状況に大きな変化はないが、物流コストのUPによって他の石に変更になる事があったとの事。